

第 20 回大気化学討論会 講演要旨集

The 20th Symposium on Atmospheric Chemistry

Book of Abstracts

Oct. 27 – 29, 2014

主催：名古屋大学太陽地球環境研究所・東京農工大学・

日本大気化学会

Co-organized by

Solar-Terrestrial Environment Laboratory, Nagoya University

Tokyo University of Agriculture and Technology

The Japan Society of Atmospheric Chemistry

第 20 回大気化学討論会

会期：2014 年 10 月 27 日 (月) - 29 日 (水)

会場：府中グリーンプラザ本館 (東京都府中市府中町 1-1-1)

6F 大会議室 (口頭発表)・5F 展示ホール (ポスター発表)

懇親会：2014 年 10 月 28 日(火) 19:00 - 21:00

ホテルコンチネンタル (東京都府中市府中町 1-5-1)

大会実行委員：

畠山 史郎(委員長：東京農工大学), 中嶋 吉弘(事務局長：東京農工大学),

島田 幸治郎(東京都環境科学研究所), 笠井 康子(情報通信研究機構), 加藤 俊吾(首都大学東京),

竹川 暢之(首都大学東京)

プログラム委員：

谷本 浩志 (国立環境研究所), 金谷 有剛 (海洋研究開発機構), 竹川 暢之 (首都大学),

澤 庸介 (気象研究所), 高橋 けんし (京都大学)

口頭発表

口頭発表 1 件あたりの講演時間は以下のとおりです。なお発表は PC プロジェクターのみの使用となります(OHP は使用不可)。

ショート：15 分 (発表 10 分 + 質疑応答 5 分)

ロング：25 分 (発表 18 分 + 質疑応答 7 分)

ポスター発表

ポスター発表は以下の 2 日間の日程で開催されます。なおポスターの掲載期間は 1 日目(10 月 27 日) 11 : 00 - 3 日目(10 月 29 日) 11 : 00 です。

第 1 日目(10 月 27 日 16:30 - 18:30)

16:30 - 17:30 は奇数番号の発表者を中心に説明

17:30 - 18:30 は偶数番号の発表者を中心に説明

第 2 日目(10 月 28 日 14:50 - 16:50)

14:50 - 15:50 は奇数番号の発表者を中心に説明

15:50 - 16:50 は偶数番号の発表者を中心に説明

講演プログラム(口頭発表)

10月27日(月)

講演時刻	講演番号	講演題目・講演者・共同研究者
13:00 - 13:10		Opening Remarks
大気圏 - 生物圏相互作用(1) : 座長 加藤 俊吾 (首都大学東京)		
13:10 - 13:25	1FT01	太平洋東部赤道海域から西部北太平洋における微小エアロゾルの雲凝結核特性と化学組成 ○河田 綾 ¹ , 中山 寛康 ^{1,a} , 古谷 浩志 ^{1,b} , 成田 祥 ¹ , 上田 紗也子 ^{2,c} , 三浦 和彦 ² , 植松 光夫 ¹ (1 東京大学, 2 東京理科大学, a 現在 東京都環境局, b 現在 大阪大学, c 現在 名古屋大学)
13:25 - 13:40	1FT02	北太平洋とその縁辺海における海洋大気エアロゾルの物理的特徴 - 白鳳丸 KH-14-3 次航海における海洋大気観測の速報結果 ○岩本 洋子 ¹ , 三浦 和彦 ¹ , 横山 慎太郎 ¹ , 古谷 浩志 ² , 植松 光夫 ³ (1 東京理科大学理学部第一部, 2 大阪大学理学研究科, 3 東京大学大気海洋研究所)
13:40 - 14:05	1FT03	太平洋における揮発性有機化合物の大気海間フラックス ○谷本 浩志, 大森 裕子, 猪俣 敏, 岩田 徹 (国立環境研究所)
14:05 - 14:20	1FT04	海洋へ供給される 植生燃焼 由来の有機態窒素 ○伊藤 彰記 ¹ , Lin Guangxing ² , Penner E.Joyce ² (1 海洋研究開発機構, 2 ミシガン大学)
14:20 - 14:35	1FT05	海洋性気団における巨大エアロゾル粒子中の揮発成分 古賀 聖治 (産業技術総合研究所)
14:35 - 14:55		Coffee Break
対流圏大気化学(1) : 座長 猪俣 敏 (国立環境研究所)		
14:55 - 15:20	1FT06	オゾン-臭化物イオンの気相-液相不均一反応による臭素分子生成(2) — 二相系化学拡散モデルとの比較— ○合田 元清 ¹ 坂本 陽介 ^{2,3} 廣川 淳 ² (1 北海道大学大学院 院・環境科学院, 2 北海道大学大学院・地球環境 科学研究所, 3 日本学術振興会特別研究員 PD)
15:20 - 15:45	1FT07	OH ラジカルによるエアロゾルの不均一酸化過程の「直接」測定 ○江波 進一 (京都大学白眉センター, 京都大学生存圏研究所, JST さきがけ)

15:45 - 16:00	1FT08	シクロヘキセンの気相オゾン分解から粒子生成に対するラジカル捕捉剤の効果 ○矢嶋 亮次 ¹ , 坂本 陽介 ^{2,3} , 猪俣 敏 ⁴ , 廣川 淳 ² (1 北大環境科学院, 2 北大地球環境科学研究所, 3 日本学術振興会特別研究員 PD, 4 国立環境研究所)
16:00 - 16:25	1FT09	イソプレンのオゾン酸化を通じた二次粒子生成への水蒸気効果 ○坂本 陽介 ^{1,3} , 矢嶋 亮次 ² , 猪俣 敏 ⁴ , 廣川 淳 ^{1,2} (1 北海道大学大学院地球環境科学研究所, 2 北海道大学大学院環境科学院, 3 日本学術振興会特別研究員 PD, 4 国立環境研究所地球環境研究センター)
16:25 - 16:30	Short Break	
16:30 - 18:30	ポスター発表 16:30 - 17:30 は奇数番号の発表者を中心に説明 17:30 - 18:30 は偶数番号の発表者を中心に説明	

10月28日(火)

講演時刻	講演番号	講演題目・講演者・共同研究者
対流圏大気化学(2) : 座長 黒川 純一 (アジア大気汚染研究センター)		
9:00 - 9:15	2FT01	対流圏光化学オゾン生成速度の測定 ○定永 靖宗 ¹ , 川崎 梓央 ¹ , 鶴丸 央 ² , 井田 明 ² , 梶井 克純 ^{2,3} , 坂東 博 ¹ (1 大阪府立大学大学院, 2 京都大学大学院, 3 国立環境研究所)
9:15 - 9:30	2FT02	OH と大気中反応性微量成分との反応による HO _x 生成収率の実大気測定 ○井田 明 ¹ , 加藤 俊吾 ² , 梶井 克純 ^{1,3} (1 京都大学 2. 首都大学東京 3. 国立環境研究所)
9:30 - 9:55	2FT03	2013年夏季京都における集中観測 : VOC + O ₃ 反応による HO _x (OH, HO ₂) 生成速度直接測定 ○鶴丸 央 ¹ , 入江 学 ¹ , 長井 祥秀 ¹ , 竹内 修大 ¹ , 井田 明 ¹ , 奥村 智慧 ¹ , Charlotte Jones ² , 弓場 彬江 ³ , 中山 智喜 ³ , 松見 豊 ³ , 和田 龍一 ⁴ , 中嶋 吉弘 ⁵ , 定永 靖宗 ⁶ , 坂東 博 ⁶ , 加藤 俊吾 ⁷ , 高橋 けんし ¹ , 板野 泰之 ⁸ , 梶井 克純 ^{1,2} (1 京都大学大学院, 2 国立環境研究所, 3 名古屋大学大学院, 4 帝京科学大学, 5 東京農工大学大学院, 6 大阪府立大学大学院, 7 首都大学東京大学院, 8 大阪市立環境科学研究所)

9:55 -10:10	2FT04	名古屋の大気エアロゾルに含まれる有機物の紫外可視光吸収およびその化学構造的特徴との関係 ○陳慶彩 ¹ , 池盛文数 ^{1,2} , 肥後隼人 ³ , 持田陸宏 ¹ (1 名古屋大学大学院環境学研究科, 2 名古屋市環境科学調査センター, 3 福岡市博多区保健福祉センター)
10:10 - 10:25	2FT05	中国の排出量変化に伴う中国・韓国・日本の降水成分の経年変化 ○板橋秀一 ¹ , 速水洋 ¹ , 藤田慎一 ¹ , 鶴野伊津志 ² (1 電力中央研究所, 2 九州大学)
10:25 - 10:45	Coffee Break	
成層圏大気化学・衛星観測：座長 長浜 智生 (名古屋大学)		
10:45 -11:00	2FT06	リオ・ガジェゴス(アルゼンチン)上空における 2009 年 11 月の長期間のオゾン全量低下に関する化学輸送モデルを用いた解析報告 ○門脇正尚 ¹ , 秋吉英治 ¹ , 中村東奈 ^{1,2} , 杉田考史 ¹ , 水野亮 ³ (1 国立環境研究所, 2 富士通 FIP, 3 名古屋大学太陽地球環境研究所)
11:00 - 11:15	2FT07	化学気候モデルを用いた 100 年定常実験による北半球中高緯度オゾン全量の ODS および GHG 濃度依存性について ○秋吉英治 ¹ , 門脇正尚 ¹ , 山下陽介 ¹ , 今村隆史 ¹ , 野沢徹 ² (1 国立環境研究所, 2 岡山大学大学院自然科学研究科)
11:15 -11:40	2FT08	東アジア上空での大気オゾン変動-衛星から観た広域変動- ○林田 佐智子 (奈良女子大学理学部)
11:40 - 11:55	2FT09	GOSAT プロジェクトにおける温室効果ガスの passive 及び active remote sensing ○森野勇 ¹ , 井上誠 ¹ , 吉田幸生 ¹ , 菊地信弘 ¹ , 横田達也 ¹ , 内野修 ¹ , 松永恒雄 ¹ , 田中智章 ^{2,a} , 境澤大亮 ² , 川上修司 ² , 石井昌憲 ³ , 水谷耕平 ³ , 柴田泰邦 ⁴ , 阿保真 ⁴ , 長澤親生 ⁴ , TCCON partners ⁵ (1 国立環境研究所, 2 宇宙航空研究開発機構, 3 情報通信研究機構, 4 首都大学東京, 5 https://tcon-wiki.caltech.edu , a 現所属 NASA Ames Research Center)
11:15 - 12:20	2FT10	衛星データ同化による対流圏大気環境統合解析 ○宮崎和幸 ¹ , H. Eskes ² , 須藤健悟 ³ (1 海洋研究開発機構, 2 オランダ王立気象研究所, 3 名古屋大学)
12:20 - 13:30	Lunch	

大気圏 - 生物圏相互作用 (2) : 座長 松枝 秀和 (気象研究所)		
13:30 - 13:45	2FT11	メタンの完全酸化 ○米村 正一郎 ¹ , 常田 武 ¹ , 児玉 直美 ¹ , 和田 龍一 ² , 松見 豊 ³ (1 農業環境技術研究所, 2 帝京科学技術大学, 3 名古屋大学)
13:45 - 14:00	2FT12	飛騨高山森林サイトにおいて観測された大気中酸素濃度の長期変動 石戸谷 重之 ¹ , 村山 昌平 ¹ , Prabir K. Patra ² , 田口 彰一 ¹ , 青木 周司 ³ , 中澤 高清 ³ , 森本 真司 ³ , 後藤 大輔 ⁴ , 近藤 裕昭 ¹ (1 産業技術総合研究所, 2 海洋研究開発機構, 3 東北大学, 4 国立極地研究所)
14:00 - 14:15	2FT13	Interhemispheric gradient in hydroxyl poorly understood ○P. K. Patra, M. C. Krol, S. A. Montzka, T. Arnold, E. L. Atlas, B. R. Lintner, B. B. Stephens, B. Xiang, J. W. Elkins, P. J. Fraser, A. Ghosh, E. J. Hints, D. F. Hurst, K. Ishijima, P. B. Krummel, B. R. Miller, K. Miyazaki, F. L. Moore, J. M. A N hle, S. O .F N"Doherty, R. G. Prinn, L. P. Steele, M. Takigawa, H. J. Wang, R. F. Weiss, S. C. Wofsy, D. Young
14:15 - 14:30	2FT14	東南アジア域における洋上石油プラットフォームからのメタン放出量の推定 ○奈良 英樹, 谷本 浩志, 遠嶋 康徳, 向井 人史, 野尻 幸宏, 町田 敏暢 (国立環境研究所)
14:30 - 14:45	2FT15	生物由来揮発性有機化合物 BVOCs のオゾン反応性測定 ○松本 淳 (早稲田大学人間科学学術院)
14:45 - 14:50	Short Break	
14:50- 16:50	ポスター発表 14:50 - 15:50 は奇数番号の発表者を中心に説明 15:50 - 16:50 は偶数番号の発表者を中心に説明	
16:50 - 17:00	Short Break	
17:00 - 18:10	日本大気化学会 総会 日本大気化学会奨励賞 受賞記念講演 ・ 江波 進一 (京都大学) ・ 松井 仁志 (海洋研究開発機構)	
19:00 - 21:00	懇親会(ホテルコンチネンタル)	

10月29日(水)

講演時刻	講演番号	講演題目・講演者・共同研究者
大災害と大気化学：座長 遠嶋 康徳 (国立環境研究所)		
9:00 - 9:25	3FT01	SPM計使用済みテープろ紙の分析による福島第一原子力発電所事故直後における東日本の大気中放射性セシウムの時空間分布 ○鶴田治雄 ¹ , 大浦泰嗣 ² , 海老原 充 ² , 大原利真 ³ , 石本光憲 ⁴ , 勝村庸介 ⁴ , 荒井俊昭 ⁵ , 司馬 薫 ⁵ , 山田裕子 ⁵ , 草間優子 ⁵ , 中島映至 ⁵ (1 東大大気海洋研究所, 2 首都大学東京, 3 国立環境研究所, 4 東大大学院工学系研究科, 5 東大大気海洋研究所)
9:25 - 9:40	3FT02	福島において観測された大気放射性セシウムの再飛散と季節変動 ○北 和之 ¹ , 田中 美佐子 ¹ , 木名瀬 健 ¹ , 山口 隆亮 ¹ , 田村 匠 ¹ , 木野日美子 ¹ , 出水宏幸 ¹ , 五十嵐 康人 ² , 三上正男 ² , 足立 光司 ² , 吉田 尚弘 ³ , 豊田 栄 ³ , 山田 桂大 ³ , 篠原 厚 ⁴ , 二宮 和彦 ⁴ , 大河内 洋 ⁵ , 石塚 正秀 ⁶ , 川島 洋人 ⁷ , 中井 泉 ⁸ , 阿部 善也 ⁸ , 渡邊 明 ⁹ , 鶴田 治雄 ¹⁰ , 恩田 裕一 ¹¹ (1 茨城大学, 2 気象研究所, 3 東京工業大学総合理工学研究科, 4 大阪大学理学系研究科, 5 早稲田大創造理工学研究科, 6 香川大工学部, 7 秋田県立大システム科学技術学部, 8 東京理科大理学部, 9 福島大理工学群, 10 東京大大気海洋研, 11 筑波大アイソトープ環境動態センター)
9:40-10:05	3FT03	東日本大震災に伴うハロカーボン類の異常放出 ○斉藤 拓也 ¹ , Xuekun Fang ^{2,3} , Andreas Stohl ³ , 横内 陽子 ¹ , Jiye Zeng ¹ , 福山幸生 ⁴ , 向井人史 ¹ (1 国立環境研究所, 2 北京大学, 3 ノルウェー大気研究所, 4 気象庁)
対流圏大気化学(3)：座長 松木 篤 (金沢大学)		
10:05 - 10:20	3FT04	雪中 BC 濃度定量時における雪解凍温度への依存性 ○木名瀬 健 ¹ , 北 和之 ² , 近藤 豊 ³ , 大畑 祥 ³ , 茂木 信宏 ³ , 東 久美子 ⁴ , 小川 佳美 ⁴ , 塩原 匡貴 ⁴ , 本山 秀明 ⁴ , 林 政彦 ⁵ , 原 圭一郎 ⁵ (1 茨城大学大学院理工学研究科, 2 茨城大学理学部, 3 東京大学大学院理学系研究科, 4 国立極地研究所, 5 福岡大学理学部)
10:20 - 10:35	3FT05	水中に分散したブラックカーボン粒子の粒径分布の測定法の研究 ○森 樹大, 近藤 豊, 茂木 信宏 (東大院理)
10:35 - 10:55		Coffee Break

10:55 - 11:20	3FT06	<p>イソプレンのオゾン酸化による有機エアロゾル生成： SOA トレーサーとジカルボン酸・オキソ酸・α-ジカルボニルの経時変化</p> <p>○河村 公隆¹, 立花 英里¹, 小野 かおり¹, 坂本 陽介², 廣川 淳² (1 北大低温研, 2 北大院地球環境)</p>
11:20 - 11:35	3FT07	<p>イソプレン起源の SOA はブラウンカーボンとなりうるか？</p> <p>○中山 智喜¹, 佐藤 圭², 今村 隆史², 松見 豊¹ (1 名大太陽地球環境研究所, 2 国立環境研究所)</p>
11:35 - 11:50	3FT08	<p>札幌における refractory carbon 沈着フラックスの 15 年間の変動</p> <p>○兼保 直樹¹, 松本 潔², 山口 高志³, 秋山 雅行³, 野口 泉³, 村尾 直人⁴, 西本 駿也⁴, 船木 大輔⁵, 高木 智史⁵ (1 産業技術総合研究所, 2 山梨大学, 3 北海道立総合研究開発機構, 4 北海道大学大学院工学研究科, 5 島根県保健環境科学研)</p>
11:50 - 12:05	3FT09	<p>長崎県福江島において観測された新粒子生成イベントについて</p> <p>○三好 猛雄¹, 高見 昭憲¹, 伊禮 聡¹, キム セヨン², 瀬戸 章文² (1 国立環境研究所, 2 金沢大学)</p>
12:05 - 12:20	3FT10	<p>$\delta^{15}\text{N}$ および $\delta^{18}\text{O}$ 同位体比を用いたエアロゾル中の硝酸塩の起源および生成プロセスの解析</p> <p>○島山 史郎¹, 鈴木 亮太¹, 木庭 啓介¹, 高見 昭憲², 吉野 彩子² (1 東京農工大学大学院農学府, 2 国立環境研究所地域環境研究センター)</p>
12:20 - 12:30		Closing Remarks

ポスター発表

ポスター番号	講演題目・講演者・共同研究者
P1	<p>関東における新粒子生成イベントの季節別特徴 ○財前祐二, 足立光司, 梶野瑞王, 五十嵐康人 (気象研究所)</p>
P2	<p>2013年夏季京都における集中観測：観測の概要 ○鶴丸 央¹, 入江 学¹, 長井 祥秀¹, 竹内 修大¹, 井田 明¹, 奥村 智憲¹, Charlotte Jones^{1,2}, 弓場 彬江³, 中山 智喜³, 松見 豊³, 和田 龍一⁴, 中嶋 吉弘⁵, 定永 靖宗⁶, 坂東 博⁶, 加藤 俊吾⁷, 高橋 けんし¹, 板野 泰之⁸, 梶井 克純^{1,2} (1 京都大学大学院, 2 国立環境研究所, 3 名古屋大学大学院, 4 帝京科学大学, 5 東京農工大学大学院, 6 大阪府立大学大学院, 7 首都大学東京大学院, 8 大阪市立環境科学研究所)</p>
P3	<p>2013年夏季関東における微小粒子状物質中オキシダントのヨウ素滴定(II) ○佐藤圭¹, 伏見暁洋¹, 藤谷雄二¹, 古山昭子¹, 田邊潔¹, 熊谷貴美代², 齊藤勝美^{1,3}, 萩野浩之⁴, 高見昭憲¹ (1 国立環境研究所, 2 群馬県衛環研, 3 イサラ研究所, 4 日本自動車研)</p>
P4	<p>2013年夏季京都における集中観測：窒素酸化物種の測定結果 ○定永靖宗¹, 川崎梓央¹, 坂東博¹, 鶴丸央², 井田明², 弓場彬江^{3,4}, 中山智喜³, 松見豊³, 和田龍一⁵, 中嶋吉弘⁶, 板野泰之⁷, 加藤俊吾⁸, Charlotte Jones⁹, 梶井克純^{2,9} (1 大阪府立大学大学院, 2 京都大学大学院, 3 名古屋大学太陽地球環境研究 所, 4 現: 東北大学大学院, 5 帝京科学大学, 6 東京農工大学大学院, 7 大阪市立環境科学研究所, 8 首都大学東京大学院, 9 国立環境研究所)</p>
P5	<p>ディーゼル車の後処理によるガス状及び粒子状ニトロ有機化合物の 排出の違い ○猪俣 敏¹, 伏見暁洋¹, 佐藤 圭¹, 藤谷雄二¹, 山田裕之² (1 国立環境研究所, 2 交通安全環境研究所)</p>
P6	<p>2013年夏季京都における集中観測：NO₂測定値の装置間比較 ○齋藤貴史¹, 我如古遼¹, 和田龍一¹, 弓場彬江^{2,3}, 中山智喜², 鶴丸央⁴, 井田明⁴, 定永靖宗⁵, 中嶋吉弘⁶, 板野泰之⁷, 加藤俊吾⁸, Charlotte Jones⁹, 梶井 克純^{4,9}, 松見 豊² (1 帝京科学大学, 2 名古屋大学, 3 現: 国立極地研究所, 4 京都大学, 5 大阪府立大学, 6 東京農工大学, 7 大阪市立環境科学研究所, 8 首都大学東京, 9 国立環境研究所)</p>
P7	<p>富士山山岳道路沿道における窒素酸化物とオゾンの連続観測 ○久保田 憲彦¹, 神林 学¹, 和田 龍一¹, 谷 晃², 高梨 聡³, 深山 貴文³, 中野 隆志⁴, 米村 正一郎⁵, 松見 豊⁶ (1 帝京科学大学, 2 静岡県立大学, 3 森林総合研究所, 4 富士山科学研究所, 5 農業環境技術研究所, 6 名古屋大学)</p>

P8	<p>2013年夏季京都における集中観測：熱分解 LIF を用いた各種窒素酸化物の連続測定</p> <p>○弓場彬江^{1,2}, 中山智喜¹, 松見豊¹, 鶴丸央³, 井田明³, 和田龍一⁴, 定永靖宗⁵, 川崎梓央⁵, 坂東博⁵, 中嶋吉弘⁶, 板野泰之⁷, 加藤俊吾⁸, Charlotte Jones⁹, 梶井克純^{3,9}</p> <p>(1 名古屋大学太陽地球環境研究所, 2 現：国立極地研究所, 3 京都大学大学院, 4 帝京科学大学, 5 大阪府立大学大学院, 6 東京農工大学大学院, 7 大阪市立環境科学研究所, 8 首都大学東京大学院, 9 国立環境研究所)</p>
P9	<p>富士山山岳道路近隣森林内における NO, NO₂, O₃ 飽差の観測</p> <p>○新海 貴久¹, 神林 学¹, 和田 龍一¹, 谷 晃², 高梨 聡³, 深山 貴文³, 中野 隆志⁴, 米村 正一郎⁵, 松見 豊⁶</p> <p>(1 帝京科学大学, 2 静岡県立大学, 3 森林総合研究所, 4 富士山科学研究所, 5 農業環境技術研究所, 6 名古屋大学)</p>
P10	<p>2013年夏季京都における集中観測：新粒子生成</p> <p>○中山智喜¹, 松見豊¹, 鶴丸央², 入江学², 井田明², 加藤俊吾³, 梶井克純^{2,4}</p> <p>(1 名古屋大学, 2 京都大学, 3 首都大学東京, 4 国立環境研究所)</p>
P11	<p>開発したエアロゾル散乱全角度分布同時計測装置による外気エアロゾル (PM_{2.5}) の測定－外気エアロゾル 1 粒子ずつの光学特性・形状・化学成分の推定の可能性－</p> <p>○中川 真秀, 笹子 宏史, 中山 智喜, 松見 豊, 上田 紗也子</p> <p>(名古屋大学太陽地球環境研究所・院理)</p>
P12	<p>富士山頂における霧イベント時の過飽和度の算出</p> <p>○渡辺 彩水¹, 三浦 和彦¹, 岩本 洋子¹, 植松 光夫²</p> <p>(1 東京理科大学, 2 東京大学)</p>
P13	<p>大気質モデルを用いた未計測 VOC による OH 減衰速度の評価</p> <p>○黒川純一¹, 猪股弥生¹, 梶井克純^{2,5}, 井田明², 茶谷聡³, 森川多津子⁴</p> <p>(1 アジア大気汚染研究センター, 2 京都大学, 3 豊田中央研究所, 4 日本自動車研究所, 5 国立環境研究所)</p>
P14	<p>八方尾根におけるオゾンおよび CO, CO₂, CH₄ 濃度の変動とその起源推定</p> <p>○岡本祥子, 谷本浩志, 池田恒平, 奈良英樹</p> <p>(国立環境研究所)</p>
P15	<p>粒子トラップ-レーザー脱離質量分析計による硫酸塩エアロゾルの定量</p> <p>○小澤 優哉¹, 武田 直希², 宮川 拓真^{1,3}, 平山 紀友², 竹川 暢之^{1,4}</p> <p>(1 東京大学, 2 富士電機株式会社, 3 現 海洋研究開発機構, 4 現 首都大学東京)</p>
P16	<p>Fast Gas Chromatography analysis of BVOC at the mountain area in Wakayama</p> <p>○Ramsamy Sathiyamurthi¹, Misaki Okajima¹, Iori Kishimoto¹, Hiroshi Tsurumaru¹, Akira Ida¹, Charlotte Jones¹, Shungo Kato³, Yoshizumi Kajii^{1,2}</p> <p>(1 Kyoto University, 2 National Institute for Environmental Studies, 3 Tokyo Metropolitan University)</p>
P17	<p>九州北部における微小粒子の化学組成解析</p> <p>○吉野彩子¹, 高見昭憲¹, 三好猛雄¹, 伊禮聡¹, 佐藤圭¹, 清水厚¹, 兼保直樹², 畠山史郎³, 原圭一郎⁴, 林政彦⁴</p> <p>(1 国立環境研究所, 2 産業技術総合研究所, 3 東京農工大学, 4 福岡大学)</p>

P18	シベリア森林火災による PM2.5 汚染：利尻における 2003 年 5 月の高濃度イベントの解析 ○池田恒平, 谷本浩志 (国立環境研究所)
P19	立山・室堂における雪ピット中のモノカルボン酸, 水溶性有機炭素, 無機イオン, 全窒素濃度の経年変化と黄砂との関係 ○望月 智貴 ¹ , 河村 公隆 ¹ , 立花 英里 ¹ , 青木 一真 ² (1 北海道大学低温科学研究所, 2 富山大学理学部地球科学科)
P20	沖縄県辺戸岬と長崎県福江島でとらえた越境大気汚染エアロゾル中の金属成分の粒径別解析 ○荒木優志 ¹ , 中嶋吉弘 ¹ , 渡邊泉 ¹ , 畠山史郎 ¹ , 高見昭憲 ² , 吉野彩子 ² (1 東京農工大学大学院農学府, 2 国立環境研究所地域環境研究センター)
P21	硝酸の三酸素同位体組成を指標に用いた NO _x の光化学反応過程の解析 ○中根令以 ¹ , 大山拓也 ¹ , 中川書子 ¹ , 角皆潤 ¹ , 野口泉 ² , 山口高志 ² (1 名大院環境, 2 道総研環境科学研究センター)
P22	日中韓広域大気汚染集中観測における有機エアロゾル・PM2.5 濃度のモデル再現性評価：VBS アプローチによる改善 ○金谷有剛 ¹ , 松井仁志 ¹ , 竹谷文一 ¹ , 駒崎雄一 ¹ , Xiaole Pan ² , 山地一代 ³ , 池田恒平 ⁴ , 高見昭憲 ⁴ , 谷本浩志 ⁴ , 近藤豊 ⁵ , Zifa Wang ⁶ , Daeil Kang ⁷ , Limseok Chang ⁷ (1 海洋研究開発機構, 2 九州大学, 3 神戸大学, 4 国立環境研究所, 5 東京大学, 6 中国科学院大気物理研究所, 7 韓国国立環境研究院)
P23	冬季から春季における名古屋の都市大気エアロゾルの吸湿特性 ○小川 修平 ¹ , 池盛 文数 ² , 山神 真紀子 ² , 中山 智喜 ³ , 持田 陸宏 ¹ (1 名古屋大学大学院環境学研究科, 2 名古屋市環境科学調査センター, 3 名古屋大学太陽地球環境研究所)
P24	冬季新潟県下越地域における大気中粒子状物質の粒径分布 ○大原信, 木原直人, 高橋章 (電力中央研究所)
P25	能登半島における PM2.5 中炭素成分の ¹⁴ C 分析 ○山田 怜奈 ¹ , 池盛 文数 ^{2,3,4} , 中村 俊夫 ⁴ , 南 雅代 ⁴ , 渡邊 隆広 ⁵ , 木ノ内 健人 ¹ , 松木 篤 ⁶ (1 金沢大学大学院自然科学研究科, 2 名古屋市環境科学調査センター, 3 名古屋大学大学院環境学研究科, 4 名古屋大学年代測定総合研究センター, 5 日本原子力研究開発機構東濃地科学センター, 6 金沢大学環日本海域環境研究センター)
P26	光解離反応による RO _x ラジカル生成能直接測定装置の開発 ○吉田 圭汰 ¹ , 鶴丸 央 ² , 梶井 克純 ^{1,2,3} (1 京都大学総合人間学部, 2 京都大学地球環境学, 3 国立環境研究所)
P27	LPG 車から排出される排気ガスの総 OH 反応性および反応性微量成分濃度測定 中嶋吉弘 ¹ , ○中村隆司 ² , Ramasamy Sathiyamurthi ² , 井田明 ² , 加藤俊吾 ³ , 伏見暁洋 ⁴ , 近藤美則 ⁴ , 藤谷雄二 ⁴ , 後藤忠夫 ⁵ , 速水修二 ⁵ , 田邊潔 ⁴ , 小林伸治 ⁴ , 齊藤勝美 ^{4,6} , 梶井克純 ^{2,4} (1 東京農工大学, 2 京都大学, 3 首都大学東京, 4 国立環境研究所, 5 LP ガス自動車普及促進協議会, 6 イサラ研究所)

P28	<p>能登半島における連続観測に基づく大気エアロゾルの特性化 ○松木篤¹, 岩本洋子², 木ノ内健人³, 兼保直樹⁴ (1 金沢大学 環日本海域環境研究センター, 2 東京理科大学 理学部, 3 金沢大学大学院 自然科学研究科, 4 産業技術総合研究所)</p>
P29	<p>福江島で春季に観測された黒色炭素エアロゾルのレンズ効果 中村悠哉¹, ○北 和之¹, 木名瀬健¹, 青木春樹¹, 茂木信宏², 足立光司³, 高見昭憲⁴, 金谷有剛⁵, 小池 真², 近藤 豊² (1 茨城大学理学部, 2 東京大学理学系研究科, 3 気象研究所, 4 国立環境研究所, 5 海洋研究開発機構)</p>
P30	<p>富士山山頂における窒素酸化物の観測 ○日向桂太¹, 和田龍一¹, 緒方裕子², 大河内博², 加藤俊吾³, 定永靖宗⁴, 松本淳², 三浦和彦⁵, 米村正一郎⁶ (1 帝京科学大学, 2 早稲田大学, 3 首都大学東京, 4 大阪府立大学, 5 東京理科大学, 6 農業環境技術研究所)</p>
P31	<p>航空機観測データを用いた GOSAT/TANSO-FTS TIR CO₂ プロファイルの 検証 ○木本周平¹, 齋藤尚子¹, 今須良一², 川上修司³, 塩見慶³, 町田敏暢⁴, 澤庸介⁵, 松枝秀和⁵ (1 千葉大学 CEReS, 2 東京大学 AORI, 3 JAXA/地球観測研究センター, 4 国立環境研究所, 5 気象研究所)</p>
P32	<p>昭和基地でミリ波分光計で観測された一酸化窒素カラム量と衛星データ との相互比較 上村美久¹, 磯野靖子², 長浜智生¹, 大山博史¹, 中島拓¹, 水野亮¹ (1 名古屋大学太陽地球環境研究所, 2 国立極地研究所)</p>
P33	<p>フーリエ変換型赤外分光計で観測されたつくばにおけるメタン高度分布の 経年変化 ○村田 功¹, 中島 英彰², 森野 勇² (1 東北大学大学院環境科学研究科, 2 国立環境研究所)</p>
P34	<p>札幌とつくばのオゾン全量トレンドに対するハロゲンガス増加の影響に ついて ○小濱里沙^{1,2}, 秋吉英治², 門脇正尚², 山下陽介² (1 東京大学大気海洋研究所気候システム研究系, 2 国立環境研究所)</p>
P35	<p>SMILES データを用いた高エネルギー粒子降りこみによる中間圏微量分子 組成変動の評価 ○長浜智生, 上村美久, 水野 亮 (名古屋大学太陽地球環境研究所)</p>
P36	<p>大気-氷界面での気体オゾンとヨウ化物イオンの不均一反応に影響を 及ぼす因子 ○奥村将徳^{1,2}, 薮下彰啓² (1 京大院工, 2 九大院総理工)</p>
P37	<p>国際宇宙ステーション搭載大気汚染ホットスポット 観測ミッション uvSCOPE ○笠井康子^{1,2}, 金谷有剛³, 谷本浩志⁴, 大気化学会大気環境衛星検討委員会 (1 情報通信研究機構, 2 東京工業大学, 3 JAMSTEC, 4 国立環境研究所)</p>

P38	<p>高層大気における HO₂ 日変化化学 ○鈴木 尚^{1,2}, 佐川 英夫³, Ralph Lehmann⁴, 中野 幸夫¹, 笠井 康子² (1 東京学芸大学, 2 情報通信研究機構, 3 京都産業大学, 4 Alfred Wegener Institute for Polar and Marine Research)</p>
P39	<p>MBL におけるヨウ素サイクルの検討 —メチルペルオキシラジカルとヨウ素原子の反応— ○松田 晶平¹, 中野 幸夫¹, 石渡 孝² (1 東京学芸大学, 2 広島市立大学)</p>
P40	<p>CONTRAIL および NICAM データを用いた GOSAT/TANSO-FTS TIR 上空 CO₂ データの検証 ○杉村亮¹, 齋藤尚子¹, 今須良一², 川上修司³, 塩見慶³, 丹羽洋介⁴, 町田敏暢⁵, 澤庸介⁴, 松枝秀和⁴ (1 千葉大学 CEReS, 2 東京大学 AORI, 3 JAXA/地球観測研究センター, 4 気象研究所, 5 国立環境研究所)</p>
P41	<p>首都圏の自治体による CO₂ 地上観測データの誤差と特性 ○田邊裕加, 今須良一, 新井豊 (東京大学大気海洋研究所)</p>
P42	<p>白鳳丸 KH-13-7, KH-14-3 航海での太平洋の大気中揮発性有機化合物測定 ○加藤俊吾¹, 中山尚¹, 黒沢弦希¹, 東海林孝騎¹, 内山一美¹, 三木裕介², 岩本洋子², 三浦和彦², 古谷浩志³, 成田祥³, 植松光夫³ (1 首都大学東京 都市環境学部, 2 東京理科大学理学部, 3 東大大気海洋研究 所)</p>
P43	<p>陸域生物圏における O₂/CO₂ 交換比に関する考察 -APO の時空間分布に 及ぼす影響- ○遠嶋康徳, 寺尾有希夫, 向井人氏, 町田敏暢, 野尻幸宏 (国立環境研究所)</p>
P44	<p>南鳥島 C-130H 輸送機を利用した温室効果ガスの観測 ○坪井一寛¹, 丹羽洋介¹, 松枝秀和¹, 澤庸介¹, 江崎雄治², 福山幸生², 高辻慎也², 藤原宏章², 奥田智紀², 出原幸志郎², 森陽樹², 石戸谷重之³, 村山昌平³, 寺尾有希夫⁴, 町田敏暢⁴ (1 気象研究所 地球化学研究部, 2 気象庁 環境気象管理官, 3 産業技術総合研究所, 4 国立環境研究所)</p>
P45	<p>オールジャパン体制による温室効果ガス観測標準の相互比較実験 (iceGGO 計画) ○松枝秀和¹, 中澤高清², 青木周司², 森本真司², 後藤大輔³, 町田敏暢⁴, 遠嶋康徳⁴, 向井人史⁴, 勝又啓一⁴, 村山昌平⁵, 石戸谷重之⁵, 加藤健次⁵, 下坂琢哉⁵, 青木伸行⁵, 小出寛⁶, 高橋正臣⁶, 滝沢厚詩⁶, 藤谷徳之助⁷, 坪井一寛¹, 澤庸介¹ (1 気象研究所, 2 東北大学, 3 国立極地研究所, 4 国立環境研究所, 5 産業技術総合研究所, 6 気象庁, 7 地球温暖化観測推進事務局)</p>
P46	<p>2014 年夏季の紀伊半島の森林域における有機エアロゾルの観測 ○鏡味沙良, 持田陸宏, 鄧彦閣, 小川修平 (名古屋大学大学院環境学研究科)</p>

P47	南鳥島における大気中二酸化炭素の安定同位体比の変動 ○村山昌平 ¹ , 坪井一寛 ² , 石戸谷重之 ¹ , 松枝秀和 ² , 澤庸介 ² , 丹羽洋介 ² , 高辻慎也 ³ , 藤原宏章 ³ , 奥田智紀 ³ , 出原幸志郎 ³ , 森陽樹 ³ , 宇佐美哲之 ¹ (1 産業技術総合研究所 2 気象研究所 3 気象庁環境気象管理官)
P48	オープンパスレーザー分光ガス検出器を用いた大気メタン濃度連続計測システムの開発 ~2014 年夏季名古屋及びインドでの試験観測~ ○秀森丈寛 ¹ , 川崎昌博 ¹ , 中山智喜 ¹ , 松見豊 ¹ , 笹子宏史 ¹ , 寺尾有希夫 ² , 野村渉平 ² , 町田敏暢 ² , 竹内渉 ³ , 安立美奈子 ³ , 今須良一 ⁴ , Surendra K. Dhaka ⁵ (1 名古屋大学太陽研, 2 国立環境研究所, 3 東京大学生産技術研究所, 4 東京大学大気海洋研究所, 5 Rajdhani College, Univ. of Delhi)
P49	Long-term variations of atmospheric CH ₄ concentration over Siberia derived from aircraft and tower measurements ○M. Sasakawa ¹ , T. Machida ¹ , A. Ito ¹ , N. Tsuda ² , M. Arshinov ³ , D. Davydov ³ , A. Fofonov ³ , O. Krasnov ³ , P. K. Patra ⁴ , K. Ishijima ⁴ (1 Center for Global Environmental Research, National Institute for Environmental Studies, 2 Global Environmental Forum, 3 V.E. Zuev Institute of Atmospheric Optics, Russian Academy of Sciences, 4 Research Institute for Global Change, JAMSTEC)
P50	カナダ・チャーチルにおける大気中メタン濃度とその炭素・水素同位体比の変動 ○藤田遼 ¹ , 森本真司 ¹ , 梅澤拓 ² , Doug Worthy ³ , 青木周司 ¹ , 中澤高清 ¹ (1 東北大院・理, 2Max Planck Institute, 3Environment Canada)
P51	植物から放出される未同定 VOC の OH 反応性の評価 ○呉偉嘉 ¹ , 岡島美咲 ¹ , 岸本伊織 ¹ , Ramasamy Sathiyamurthi ¹ , 鶴丸央 ¹ , 井田明 ¹ , 梶井克純 ^{1,2} (1 京都大学, 2 国立環境研究所)
P52	植物から放出される反応性微量成分の総炭素濃度 ○岡島美咲 ¹ , 岸本伊織 ² , 東海林孝騎 ³ , Ramasamy Sathiyamurthi ³ , 鶴丸央 ³ , 井田明 ³ , 加藤俊吾 ⁴ , 梶井克純 ^{1-3,5} (1 京都大学総合人間学部, 2 京都大学大学院人間・環境学研究科, 3 京都大学大学院地球環境学堂, 4 首都大学東京都市環境科学研究科, 5 国立環境研究所)
P53	硫化カルボニル硫黄同位体計測法の開発とその大気化学への応用 ○服部祥平 ¹ , 豊田朱梨 ¹ , 豊田栄 ¹ , 吉田尚弘 ^{1,2} (1 東京工業大学, 2 地球生命研究所)
P54	日本の優勢樹種から放出される揮発性有機化合物の包括的な評価-化学分析と OH 反応性- ○岸本伊織 ¹ , 岡島美咲 ¹ , 東海林孝騎 ¹ , Ramasamy Sathiyamurthi ¹ , 鶴丸央 ¹ , 井田明 ¹ , 中嶋吉弘 ² , 加藤俊吾 ³ , 茶谷聡 ⁴ , 横内陽子 ⁵ , 梶井克純 ^{1,5} (1 京都大学, 2 東京農工大学, 3 首都大学東京, 4 豊田中央研究所, 5 国立環境研究所)